

令和5年度公共事業再評価対象事業における便益の考え方について

○農業農村整備事業、農道整備事業及び河川事業ともに国のマニュアルに基づき効果算定を行う。また、事業ごとに便益算定に伴う効果項目が異なっている。

(単位:百万円)

番号	事業名	効果項目	効果概要	効果算出方法等	効果算出マニュアル	便益	便益	便益	便益	便益	便益		
						蕪栗沼	柴田	柳田峠2期	南沢川	雉子尾川	小田川		
1	農業農村整備事業	作物生産効果	農産物を量的に増加させる効果及び作物生産が維持される効果	生産増減量(計画生産量－現況生産量)×作物単価	新たな土地改良の効果算定マニュアル(農水省:H27.9改訂版)	51	125	-	-	-	-		
		営農経費節減効果	区画整理により作物生産に要する経費が節減される効果	(現況単位面積当たり営農経費－計画単位面積当たり営農経費)×効果発生面積		145	-13	-	-	-	-		
		維持管理費節減効果	維持管理に係る経費が節減される効果	現況維持管理費－計画維持管理費		-6	-11	-	-	-	-		
		耕作放棄防止効果	区画整理等による農用地の改良及び土地改良施設の更新に伴って耕作放棄の発生が防止され、これにより当該農地での作物生産や多面的機能が維持される効果	作物生産に係る効果+多面的機能に係る効果		0	-	-	-	-	-		
		国産農産物安定供給効果(国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果)	土地改良事業の実施により農用地や水利条件の改良等がなされることに伴って、その受益地域において維持・向上するとみなされる国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果	年増加粗収益額×単位食料生産額当たり効果額		10	17	-	-	-	-		
2	農村整備事業(農道整備)	品質向上効果	作物生産の立地条件が改良又は維持されることに伴う、生産物の品質への影響に関する効果	作物生産量×商品化向上率×作物単価		-	-	2	-	-	-		
		維持管理費節減効果	老朽化し機能低下の著しい土地改良施設を改築して近代的な施設にすることにより、これまで要してきた維持管理に係る経費が増減される効果	維持管理費(事業なかりせば)－維持管理費(事業ありせば)		-	-	-2	-	-	-		
		営農に係る走行経費節減効果	農道を新設又は更新することにより、農作物の生産に必要な資材や農作物の輸送、通作などの農業交通に係る走行経費が節減又は維持される効果であり、事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の農業交通に係る走行経費の節減をもって年効果額を算定する効果	走行経費(事業なかりせば)－走行経費(事業ありせば)		-	-	138	-	-	-		
		一般交通当経費節減効果	農道を新設又は更新することにより、一般交通の走行に係る人件費や車輛経費などの走行経費節減又は維持される効果	走行経費(事業なかりせば)－走行経費(事業ありせば)		-	-	1	-	-	-		
3	河川事業	被害防止便益	直接被害	一般資産被害		家屋、家庭用品、事業所償却・在庫資産等の被害	治水経済調査マニュアル(国交省:R2.4改定)	調書等参照	調書等参照	調書等参照	調書等参照	-	-
			農作物被害	浸水による農作物の被害	農作物資産額×浸水深に応じた被害率	-						-	-
			公共土木施設等被害	公共土木施設、公益事業施設、農地・農業用施設の浸水被害	<公共土木施設・公益事業施設> 一般資産被害額×74.2% <農地・農業用施設> 水田・畑面積×1,539円/m2	-						-	-
			間接被害	営業停止被害・応急対策費用	事業所や公共・公益サービスの停止・停滞被害や家庭・事業所等の応急対策費用	<営業停止被害> 産業毎の従業者数×営業停止・停滞日数×1人1日当たりの付加価値額 <応急対策費用>(家庭) 世帯数×労働対価評価額×浸水深に応じた清掃延日数						-	-
便益(現在価値:B)						5,098	3,639	8,437	77,230	233,660	715,200		
費用(現在価値:C)						4,462	2,463	4,442	10,600	19,180	12,670		
B/C						1.14	1.47	1.89	7.29	12.18	5.65		

※便益と費用の合計値は現在価値化した値であるため、各事業の便益を足した合計値ではない。